

令和3年度逗子市療育推進事業検討会 名簿

	所 属 等	氏名
1	公募市民	友野 京子
2		山本 啓一
3		柳下 枝里
4	逗子市手をつなぐ育成会	中島 亜紀
5	逗子市自立支援会議	(福)湘南の凧支援センター凧 施設長 菊池 一美
6	逗葉私立幼稚園協会	聖マリア幼稚園 園長 森 荘一
7	逗子市保育施設連絡協議会	湘南アイルド逗子保育園 施設長 高橋 妙貴
8	神奈川県鎌倉三浦地域児童相談所	子ども支援課長 原 和子
9	神奈川県鎌倉保健福祉事務所	保健福祉課長 柴田 元子
10	市職員	障がい福祉課長 雲林 隆継
11		学校教育課長 杵山 英廷
12		子育て支援課長 島貫 宏
13	アドバイザー	東洋英和女学院大学 人間科学部保育子ども学科 平田 幸宏

令和2年事業実績報告

(令和3年3月31日現在)

● 新規利用児童数

	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
未就学	64	67	73	55
学齢	28	38	32	27
合計	92	105	105	82

● 継続利用児童数（新規も合わせて）

	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
未就学	170	197	194	180
学齢	132	214	329	425
合計	302	411	523	605

年齢別実人数

年齢	実人数	年齢	実人数
0歳	7	10歳	57
1歳	12	11歳	35
2歳	22	12歳	26
3歳	31	13歳	15
4歳	47	14歳	11
5歳	61	15歳	6
6歳	78	16歳	9
7歳	58	17歳	3
8歳	68	18歳	6
9歳	53	合計	605

職種別相談件数

	相談員	心理士	言語 聴覚士	理学 療法士	作業 療法士	保育士	保健師	合計
0歳	90	5	8	31	3	2	0	139
1歳	202	46	30	1	0	53	18	350
2歳	412	121	39	32	2	100	73	779
年少	491	74	41	34	12	48	31	731
年中	637	159	74	13	26	73	47	1,029
年長	921	158	447	12	129	26	19	1,712
小・低学年	283	98	93	0	61	0	3	538
小・中学年	118	51	59	0	34	1	1	264
小・高学年	146	76	43	3	20	2	3	293
中学生	116	45	41	1	15	0	3	221
義務教育終了後	27	2	13	0	3	0	0	45
計	3,443	835	888	127	305	305	198	6,101

3

職種別相談実人数

	市内 人口	ケース 数	内 訳						
			相談員	心理士	言語 聴覚士	理学 療法士	作業 療法士	保育士	保健師
職員数		18	4	3	4	1	3	2	1
0歳	320	13	13	3	3	3	1	2	0
1歳	350	27	25	19	3	1	0	5	2
2歳	408	41	38	31	9	3	2	12	9
年少	373	55	46	32	13	3	6	9	7
年中	422	72	69	48	31	2	16	11	10
年長	470	83	72	60	51	3	34	8	8
小・低学年	978	74	59	45	37	0	23	0	2
小・中学年	992	39	36	26	12	0	11	1	1
小・高学年	1,005	29	26	23	7	1	8	2	3
中学生	1,560	27	26	20	7	1	8	0	3
義務教育終了後	2,020	7	7	2	2	0	1	0	0
計	8,898	467	417	309	175	17	110	50	45

4

巡回相談件数（1）

		支援を行った人数		相談につながった人数		支援者支援を行った人数		巡回回数	
		R元年度	R2年度	R元年度	R2年度	R元年度	R2年度	R元年度	R2年度
1	かぐのみ幼稚園	23	15	1	3	22	12	3	2
2	第二逗子幼稚園	0	0	0	0	0	0	0	0
3	聖和学院幼稚園	0	0	0	0	0	0	0	0
4	聖マリア幼稚園	5	3	1	1	4	2	3	2
5	逗子幼稚園	0	0	0	0	0	0	0	0
6	湘南保育園	16	9	4	0	12	9	3	2
7	小坪保育園	20	21	2	1	18	20	3	2
8	双葉保育園	11	9	0	1	11	8	3	2
9	沼間愛児園	14	9	4	2	10	7	3	2
10	桜山保育園	8	8	2	1	6	7	2	2

5

巡回相談件数（2）

		支援を行った人数		相談につながった人数		支援者支援を行った人数		巡回回数	
		R元年度	R2年度	R元年度	R2年度	R元年度	R2年度	R元年度	R2年度
11	湘南アイルド逗子保育園	6	5	0	1	6	4	2	1
12	逗子なないろ保育園	5	6	2	2	3	4	3	2
13	ごかんのいえ	3	2	0	0	3	2	3	1
14	しらかば逗子乳児保育園	0	0	0	0	0	0	0	0
15	第2あにえるち保育園	2	3	0	0	2	3	1	2
16	あにえるち保育室	0	2	0	0	0	2	0	1
17	ごかんのもり	11	6	0	0	11	6	3	1
18	うみのこ	-	0	-	0	-	0	-	0
19	LaLaLand逗子	8	8	0	0	8	8	3	2
20	ココカラデザイン保育園 山本メディカルひでまり園	2	0	0	0	2	0	1	0
	合計	134	106	16	12	118	94	36	24

のべ人数：142

6

新規利用者の紹介ルート

	子育て支援課の健診からのケース			子育て支援課	障がい福祉課	教育研究相談センター	学校	幼保 (巡回含む)	HP	知人	その他	合計
	4月健診	1歳6か月健診	3歳健診									
4月	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1	0	3
5月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2
6月	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	2
7月	0	0	0	3	0	2	1	0	0	1	1	8
8月	0	2	0	2	0	0	1	0	0	0	2	7
9月	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1	0	3
10月	0	3	0	0	0	0	3	2	2	3	1	14
11月	0	0	0	1	0	1	1	1	2	3	2	11
12月	1	1	0	0	0	0	0	5	1	0	1	9
1月	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	4	6
2月	0	0	0	0	0	0	0	3	1	0	1	5
3月	1	0	0	0	0	2	2	2	4	0	1	12
合計	2	6	0	8	0	7	8	14	13	11	13	82

※その他(こども医療センター、さくらやま小児科クリニック、他市療育センター、児童発達センター、幼少期療育利用者等)

7

学校との連携

		巡回相談		支援シート 作成会議	コンサル テーション	引継ぎ会議	ケース会議
		(回)	(件)	(件)	(件)	(回)	(回)
1	逗子小学校	1	7	15	19	2	0
2	沼間小学校	2	4	0	7	1	0
3	久木小学校	2	6	0	35	1	0
4	小坪小学校	2	4	0	5	1	0
5	池子小学校	2	4	0	5	1	2
6	しおさい	0	0	0	2	1	0
7	やまびこ	0	0	0	2	1	0
8	逗子中学校	1	3	0	3	0	0
9	久木中学校	2	5	0	3	0	0
10	沼間中学校	2	5	0	2	0	5
11	鎌倉養護学校	0	0	0	1	0	0
12	武山養護学校	1	1	0	2	0	0
13	平塚ろう学校	0	0	0	1	0	0
14	関東学院小学校	0	0	0	1	0	0
	合計	15	39	15	88	8	7

※巡回は、ケース巡回と、平成30年度より実施している市内公立小・中学校への定期巡回を含む。

8

障害種別実人数

障害種別	実人数									
	身体障害手帳所持		療育手帳所持		身体障害手帳および療育手帳 両所持		身体障害手帳および療育手帳 未所持			
	未就学児	学齢児	未就学児	学齢児	未就学児	学齢児	未就学児	学齢児	合計	
身体障害および その可能性	4	1	3	0	1	4	9	3	25	
知的障害および その可能性	0	0	6	26	1	2	6	13	54	
言語障害および その可能性	0	0	0	0	0	0	23	24	47	
発達障害および その可能性	0	0	0	1	0	0	122	356	479	
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計	4	1	9	27	2	6	160	396	605	

返子市こども発達支援センターくろーばー
令和2年度事業実績報告

児童発達支援事業

1. 事業所児童発達支援事業全体での利用者数(のべ人数)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開所日数(通園・相談Gのみ)	21	18	22	21	16	20	22	19	20	19	18	20	236
定員	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	165
利用のべ数	71	84	119	124	94	112	122	121	127	133	101	140	1,348
1日あたりの参加人数	3.4	4.7	5.4	5.9	5.9	5.6	5.5	6.4	6.4	7.0	5.6	7.0	
利用率 (利用のべ数÷(開所日数×定員))	23%	31%	36%	39%	39%	37%	37%	42%	42%	47%	37%	47%	

2. 利用者の年齢及び性別状況(3月末現在)

通園療育

年齢	男性	女性	合計	構成比(%)
1歳児	0	0	0	0.0%
2歳児	1	0	1	5.0%
3歳児	4	3	7	35.0%
4歳児	3	2	5	25.0%
5歳児	4	3	7	35.0%
合計	12	8	20	100.0%

平均年齢

男性	3.8才
女性	4.0才
全体	3.9才

午後クラス療育

年齢	男性	女性	合計	構成比(%)
1歳児	0	0	0	0.0%
2歳児	0	0	0	0.0%
3歳児	0	0	0	0.0%
4歳児	6	1	7	50.0%
5歳児	4	3	7	50.0%
合計	10	4	14	100.0%

平均年齢

男性	4.4才
女性	4.8才
全体	4.5才

3. 巡回相談

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
訪問件数	0	0	0	0	1	3	4	5	0	0	0	0	13
対象児数	0	0	0	0	2	9	4	6	0	0	0	0	21

訪問先	幼稚園	聖マリア幼稚園 かべのみ幼稚園 かまくら幼稚園 三笠幼稚園 あけの星幼稚園 葉山明照幼稚園 鎌倉いずみ幼稚園 御国幼稚園
	保育園	湘南保育園 桜山保育園 湘南アイルド返子保育園
	幼稚部	なし

放課後等デイサービス事業

1. 放課後デイの利用者数(のべ人数)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開所日数	21	18	22	21	17	21	23	20	20	19	19	20	241
定員	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60
利用のべ数	30	26	55	55	41	62	69	70	68	48	52	60	636
1日あたりの参加人数	1.4	1.4	2.5	2.6	2.4	3.0	3.0	3.5	3.4	2.5	2.7	3.0	
利用率 (利用のべ数÷(開所日数×定員))	29%	29%	50%	52%	48%	59%	60%	70%	68%	51%	55%	60%	

※8月より、月1回の土曜プログラムを開催

2. 利用者の年齢及び性別状況(放課後デイ)

年齢	男性	女性	計	構成比(%)
7歳	5	1	6	13.3%
8歳	3	2	5	11.1%
9歳	8	1	9	20.0%
10歳	5	1	6	13.3%
11歳	2	2	4	8.9%
12歳	4	0	4	8.9%
13歳	3	3	6	13.3%
14歳	3	1	4	8.9%
15歳	0	1	1	2.2%
16歳	0	0	0	0.0%
17歳	0	0	0	0.0%
18歳	0	0	0	0.0%
合計	33	12	45	100.0%

平均年齢

男性	10.0才
女性	11.0才
全体	10.3才

3. 巡回相談

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
訪問件数	0	0	0	0	0	1	3	1	0	0	0	0	5
対象児数	0	0	0	0	0	3	8	3	0	0	0	0	14

共通項目**1. 重点課題テーマ および 報告**

事業所開設5年目にあたり、大きなテーマとしては「療育の質的向上」と考えており、以下の3点を重点課題とし、努めてまいりました。

(1) 質の高い発達支援サービスの提供

- ・利用家族の思いや事業所としてのあり方について、職員全体で共有し、利用者本人や家族の視点に立った支援が行われるよう取り組んできました。特に、療育後の保護者との「ふりかえりの時間」を活用し、保護者の方々に、「子ども理解」を深めていきました。
- ・子ども達が安心して支援が受けられるよう、療育室の環境整備につとめ、怪我や事故の防止を心がけました。特に、感染予防のための消毒、換気は充分に行い、看護師を講師にし、研修会も行いました。また、職員ひとり一人の子ども達の安全に対する意識を高め、ヒヤリハットの徹底と分析を行いました。
- ・「障がい特性」と「発達支援」の基本を理解し、お子さんの課題を考え解決できる職員の育成を心がけました。また職員は自己の研修テーマを定め、それを達成するための法人内外のさまざまな研修の機会を保障しました。外部講師を招き、療育のスーパーバイズ、ケース検討会を月1回行いました。
- ・就労している保護者がくろーばーを利用しやすくするために、保育園への送迎を開始しました。
- ・放課後等デイサービスでは、自立と社会参加を目標にした「土曜日プログラム」を開催しました。

(2) 職場環境を快適に保ち、職員のモチベーションの低下を防止。

- ・管理者・現場職員との相互の報連相を大事にし、ガバナンスの構築を行いました。
- また、管理職との個別面談を実施し、クラスごとの課題や職員間の問題等を洗い出し、解決に努めました。

(3) 関係機関との連携、信頼関係の構築

- ・逗子市との委託業務に関する内容を滞りなく計画・実施・報告をしながら協力関係を強化しました。
- ・コロナ禍の中、感染予防には十分配慮し、巡回先の保育園・幼稚園・小中学校に対し、事前に巡回の目的やねらいを明確にし、共通認識をした中で、巡回を行いました。巡回時も園の先生とのコミュニケーションを大事にしながら、双方にとって有益な取り組みになるよう努めました。

2. 活動報告

4月	5月	6月
2日(木) 3日(金) 6日(月) 新年度説明会 (通園・放デイ) 7日(火)～10日(金) 個別面談 14日(火) 前期開始 (通園・午後・放デイ)		
7月	8月	9月
	土曜プログラム開始 (放デイ・月1回)	18日(金)前期終了(通園) 23日(水)～25日(金)個別面談 29日(火)後期開始(通園)
10月	11月	12月
	1日(日)市民向け研修会	19日(土)クリスマス会
1月	2月	3月
		23日(火)～26日(金)お別れ会

3. 行事報告

日時	行事	参加組数
4月2日(木)	新年度説明会	12名
4月3日(金)	新年度説明会	10名
4月6日(月)	新年度説明会	9名
11月1日(日)	市民向け研修会	31名
12月19日(土)	クリスマス会	14名

4. くろーばー主催研修会報告

日時	テーマ	参加者
11月1日(日)	市民向け研修会「発達障がいの理解」 講師:篠山 淳子 氏 星 将登 氏	31名

5. 防災訓練報告

6月30日(火)避難訓練(火災を想定) 参加17名(子ども5名 保護者1名 職員11名)【センター全体訓練】

9月1日(火)避難訓練(地震を想定) 参加21名(子ども5名 職員16名)

12月24日(金)避難訓練(地震を想定)参加7名(子ども2名 職員5名)【法人全体訓練】

1月28日(木)避難訓練(地震を想定) 参加24名(子ども7名 保護者2名 職員15名)

6. その他

福祉サービス第三者評価(評価機関名:株式会社フィールズ)

保護者アンケート結果(資料4参照)

(実施月:6月～8月 児発 配布総数28通 回答16通 回収率57.1%
放デイ 配布総数36通 回答17通 回収率47.2%)

令和3年度に向けての展望

事業所開設6年目にあたり、大きなテーマとして「療育の質的向上」、「健全なる事業所運営」と考えており、以下の3点を重点課題とし、努めてまいります。

(1) 療育の質の向上

- ・外部講師によるスーパービジョン及びケース会議を月に一度実施し、職員一人ひとりの療育力を高めます。
- ・職員が児童の個々の評価、障がい特性、発達への理解、保健衛生の深化のために、個別支援会議を中心として、研修会の参加の推進、事業所内の学習会を定期的に行います。
- ・チャレンジシートや職員面談を活用し、研修会、学習会の参加に計画性を持ちながら、自発的な自己研鑽を行います。
- ・利用家族の思いや事業所としてのあり方について、職員全体で共有し、利用者本人や家族の視点に立った支援が行われるよう取り組んでいきます。
- ・子ども達が安心して支援が受けられるよう、療育室の環境整備につとめ、怪我や事故の防止を心がけます。また、職員ひとり一人の子ども達の安全に対する意識を高め、ヒヤリハットの徹底と分析を行います。

(2) 職場環境を快適に保ち、職員のチームワークを高め続けます。

- ・管理者・主任・現場職員との相互の報連相を大事にし、職員全員で情報共有を行い、ガバナンスを構築します。
- また、園長は全職員との個別面談を定期的に行い、課題や問題等の解決に努めます。
- ・職員一人ひとりが職務上の役割を理解し、職員同士が支え合い、業務の効率化を目指します。
- ・コミュニケーションの円滑化を図るために、「挨拶」、「声を掛け合う」、「状況を伝え合う」など、日々の行動を大切にします。

(3) 魅力ある事業づくりを目指し、収支の黒字化を目指します。

- ・利用児のニーズ、職員体制を考慮しつつ、利用率、出席率を高めます。
- ・事業所のオープンデイを開催し、支援者をはじめ、事業所の魅力を地域に伝えていきます。
- ・欠席時対応加算等の見直しを行います。
- ・巡回先の保育園・幼稚園・小中学校に対し、事前に巡回の目的やねらいを明確にし、共通認識をした中で、巡回を行います。

令和 2 年度定期監査報告書（一部抜粋転記）

6 監査の結果

療育教育総合センター

○ 監査実施日

令和 3 年 2 月 25 日

○ 監査の結果

一部省略

〈意見・要望事項〉

- ・ こども発達支援センター療育部門運営事業業務委託については、市の厳しい財政状況を踏まえ、次のとおり要請する。
 - ① 市の負担が高額に据え置かれる要因である給付費収入の見込み額を適正な利用率に基づいた契約に見直すこと。
 - ② センター開設当時との状況変化の把握及びこれまでの事業実績を十分に検証した上で、今後も利用率が採算ベースに届かないと認められる場合は、事業規模の適正化を図ること。
 - ③ 児童発達支援の業務について、市域の民間施設や保育所・学校等を含めた大きなネットワークの中で、公の役割がどうあるべきかを再度検討されたい。

7 意見

令和 2 年度の定期監査における主な検出事項は、次の 7 点である。

(1) ～ (6) 省略

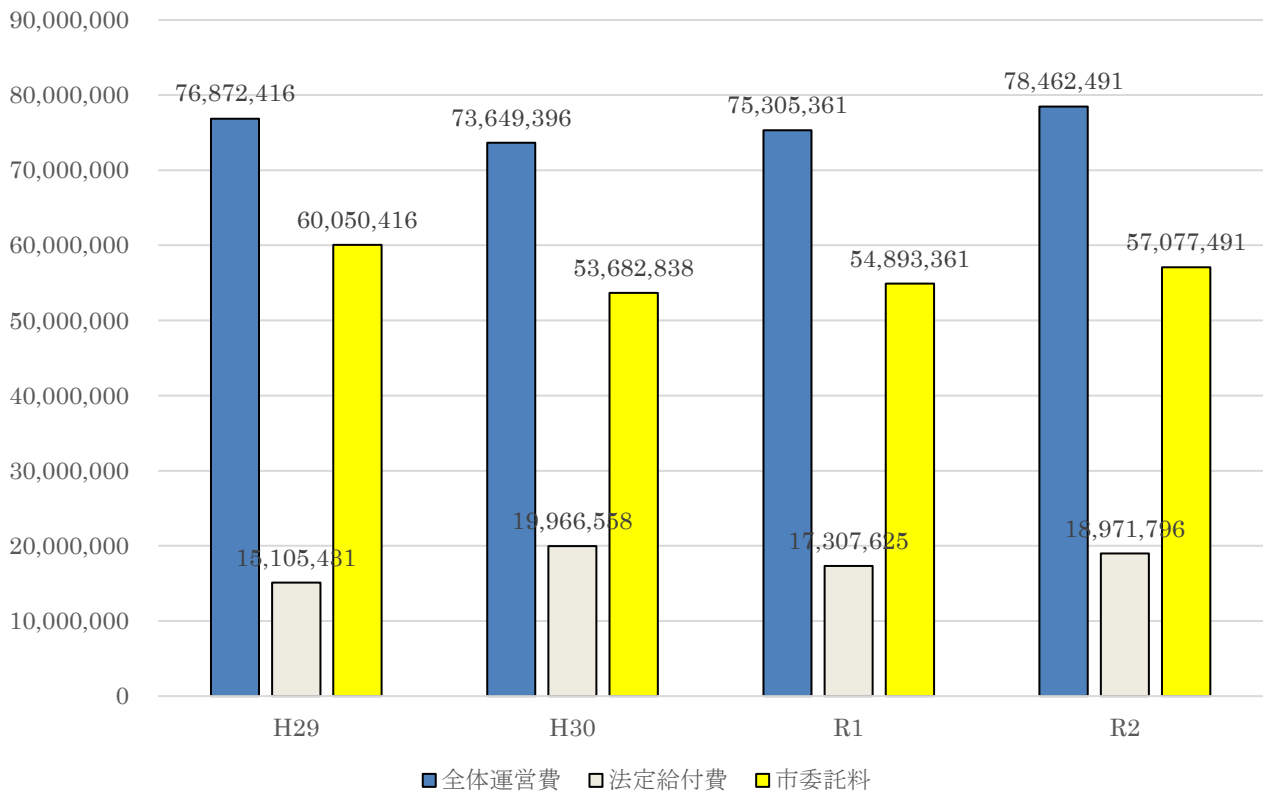
(7) 3 E（経済性、効率性、有効性）の観点から是正、改善が求められる事務事業

今回の監査対象となった所管の事務事業の中から、特にコスト面で問題があることも発達支援センター療育部門運営事業業務委託と、逗子市体験学習施設親子スペース等運営業務委託契約について時間をかけ調査を行った。その結果、コスト以外でも、本来の目的に合致した状態にないこと、当初期待された目標に達していないこと等が複合的に問題点として検出された。

市の厳しい財政状況を考えれば、現状を見直すことは必須であり、まず着手すべき点は意見・要望事項として挙げたが、抜本的な手直しがさらに求められるところである。具体的な改善の糸口が見つからなければ、事業の縮小、廃止までも視野に入れるべきと考える。

3 E の監査は、場合により事業の有効性の深い領域まで踏み込むものとなるが、庁内のシステムとして事務事業評価が相応に機能していれば、監査結果を待つまでもなく、マネジメントサイクルの中で一定の評価付けが行われ、有効性の是非を問うことが可能である。又、その評価を使って監査の実施対象を選択するといった連動も考えられるので、事務事業評価をしっかりと行う体制づくりも必要であり、そのような仕組みを逗子市でも内部統制として構築することを、検討すべきと考える。

【参考】センター運営費の推移（決算値）（円）



市内通所支援事業所一覧

(順不同)

種別	No.	事業所名称	所在地	法人名称	開設日	定員数	
						児発	放デイ
児・放	1	逗子市こども発達支援センターくろーばー	桜山5-20-29	社会福祉法人県央福祉会	2017.1.1児発 2017.5.1放デイ	20	児発 15
							放デイ 5
児・放	2	スタジオみらい逗子	桜山2-8-33	湘南みらい株式会社	2017.5.1	10	児発 5
							放デイ 5
児・放	3	ピュアフレンド	沼間1-4-50	NPO湘南クリエイティブサービス	2014.7.1	25	児発 5
							放デイ 20
児	4	コペルプラス 逗子教室	逗子5-6-18	株式会社コペル	2020.8.1	10	児発 10
放	5	海山時間	久木4-17-12	合同会社レインボーグロウ	2021.3.1	10	放デイ 10
児	6	スパーク逗子 運動療育スタジオ×山本メディカル	桜山3-19-17	株式会社Alpha	2021.10.1予定	-	

計 75名

(内訳) 児発定員計 35

放デイ定員計 40

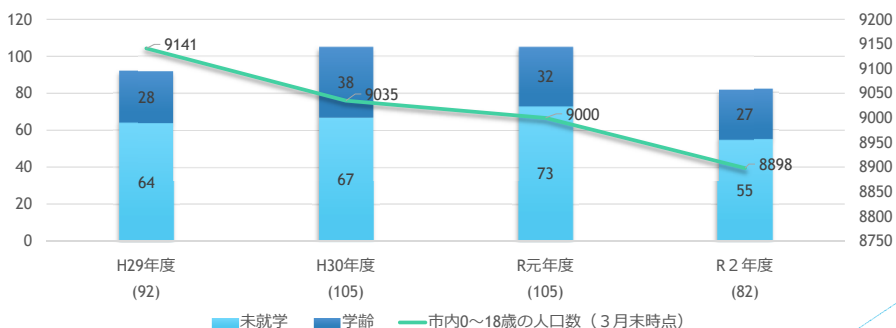
こども発達支援センター 運営実績（H29～R2年度）

令和3年7月
逗子市こども発達支援センター

1

1. 相談部門「ひなた」の利用状況

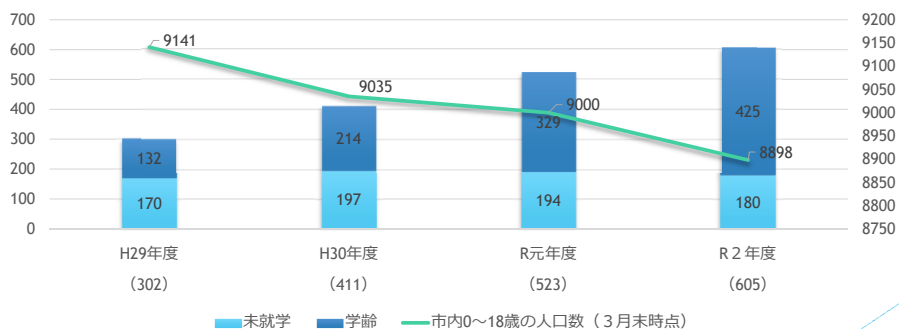
（1）新規利用児童数の年度別推移



2

1. 相談部門「ひなた」の利用状況

(2) 継続利用児童数（新規含む）の年度別推移

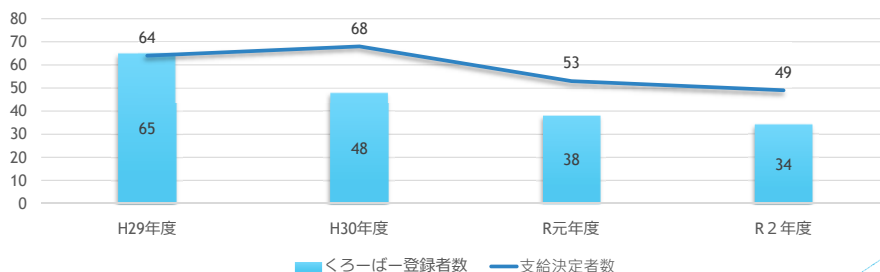


3

2. 療育部門「くろーばー」の利用状況

(1) 児童発達支援登録者数の年度別推移

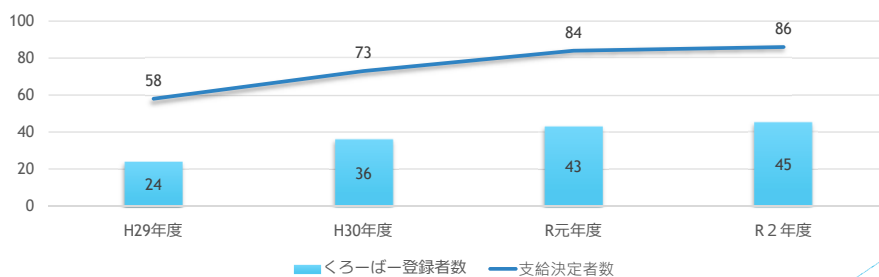
(3月末時点)



4

2. 療育部門「くろーばー」の利用状況

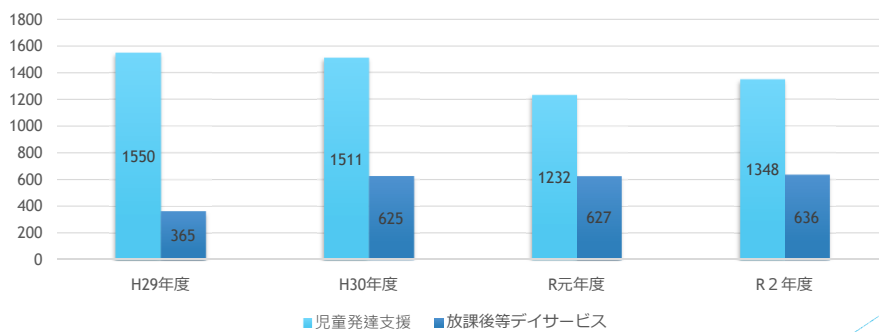
(2) 放課後等デイサービス登録者数の年度別推移
(3月末時点)



5

2. 療育部門「くろーばー」の利用状況

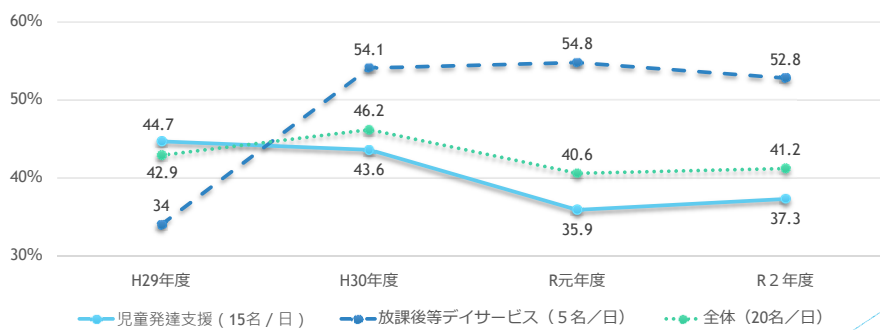
(3) 延べ利用回数の年度別推移



6

2. 療育部門「くろーばー」の利用状況

(4) 利用率の年度別推移



こども発達支援センター運営状況から見る現状分析と課題

1. こども発達支援センターの運営について

センターの役割（基本構想）	現状及び自己評価	課題
<ul style="list-style-type: none"> ・0歳から18歳までのワンストップで一貫した支援により、家族への支援及び障害に対する理解や受容に繋げるなど幅広いニーズに応える。 ・保健・医療・福祉・教育との連携強化による切れ目のない支援を行い、関係機関とのつなぎ役を担う。 ・巡回相談やスーパーバイズ機能による幼稚園・保育園・学校等への機関支援により、連携サポートを行う。 ・療育に関する情報センターとして、情報収集や情報発信が充実している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・対象人口減少傾向のなか、一定の相談人数を維持している。 ・児の特性に応じて、広く相談から専門的な療育を提供できる体制を専門職の配置により有している。 ・通所支援を利用定員20名（児発15名、放デイ5名）で運営している。 ・療育利用者数の減少傾向がみられる。 ・兼任辞令を受けた直営常勤職員配置により、福祉と教育の関係機関との連携はスムーズである。 ・定期巡回相談のほかにも、必要に応じて、センター内で連携して機関支援を行っている。 ・保護者及び関係機関等に向けた各種講座や勉強会等の開催を積極的に行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・開設当初の基本構想から、見直しが必要なセンター運営方針を洗い出す。 ・通所支援（児発・放デイ）の利用促進。

こども発達支援センター利用者アンケート調査について（案）

【アンケート概要】

1. 調査目的

平成 28 年度にこども発達支援センターが開設してから 5 年を経過するに当たり、現在こども発達支援センター「ひなた」が抱える問題点を「ひなた」利用児の保護者の視点から意見を求めて整理し、これからのこども発達支援センター「ひなた」運営及び療育部門「くろーばー」の運営について利用者のニーズを的確に把握し、具体的かつ適切な取組みや方向性の検討に資することを目的として、アンケート調査を行う。

2. 調査対象者

「ひなた」の利用実績（令和元年度以降現在まで）のある児童の保護者。

（「くろーばー」利用者を含む。）

（令和元年度以降「ひなた」利用実績がない場合、現在まで支援ニーズがないと判断する。）

（「ひなた」利用に配慮を必要としている保護者については、調査対象から除外する。）

3. 調査方法

「ひなた」利用者（「くろーばー」利用者を含む。）の保護者宛てに、アンケート調査票を郵送し、その際に同封する返信用封筒により回答期限までの返信を依頼し回収する。ただし、回答期限までにこども発達支援センターに来所した際に、「ひなた」または「くろーばー」職員に調査票を直接手渡すことも可とする。

4. 回答方法

無記名による項目選択と補足記述併用（予定）

5. 調査期間

令和 3 年 8 月～9 月中（予定）

6. 設問の意図

- ・「ひなた」への最初の相談から、現在どのようなサポート支援を受けているのかを把握し、これからの「ひなた」による相談や支援にサポートに必要なニーズを把握する。併せて「くろーばー」の今後のサービス提供のあり方についても検討材料とするため、利用状況及びニーズを把握する。
- ・設問ごとにいくつかの選択肢の中から該当する項目を選ぶことで、まず全体の傾向を把握し該当する項目の理由を追加記述することにより、保護者の思いをより具体的に把握する。
- ・「ひなた」に取り組んでもらいたい内容については、選択肢を設定せずに自由記述とし、保護者からの意見を広く自由に求める。

7. 設問項目 (予定)

<p>【1. 「ひなた」の相談について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どこで「ひなた」を知ったか ・最初の相談時の対象児の年齢 ・相談の目的種別等 ・相談に携わった専門職 ・相談の際に特に配慮を要したこと ・相談による支援方針の満足度 ・途中で相談休止した場合の理由 <p>【2. 現在の支援サポート状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援種別（児発・放デイ等） ・事業所名、利用日数、選んだ理由 ・現在の支援サポートの満足度 ・「くろーばー」に繋がらなかった理由 <p>【3. 「ひなた」の利用について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・センターの立地及びアクセスの評価 ・「ひなた」の相談支援体制の満足度 ・「ひなた」の講座・勉強会の活用と満足度 ・「ひなたファイル」の活用と満足度 ・「ひなた」と「くろーばー」との連携の満足度 ・「ひなた」と幼稚園・保育園・学校等との連携の満足度 ・「ひなた」と「教育研究相談センター」との連携の満足度 ・「ひなた」にもっと必要だと思うこと、新たに組みんでもらいたいこと 	<p>【4. 「くろーばー」の利用について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在の所属クラス（児発・放デイ別） ・現在の利用日数 ・「くろーばー」を選んだ理由 ・「くろーばー」以外の事業所利用の有無 ・「くろーばー」だけを継続利用している場合の理由 ・療育プログラム内容の満足度 ・利用日数の満足度 ・振り返りの内容の満足度 ・放デイ土曜プログラムの利用と感想 ・「くろーばー」の相談体制の満足度 ・「くろーばー」と「ひなた」との連携の満足度 ・「くろーばー」と幼稚園・保育園・学校等との連携の満足度 ・「くろーばー」にもっと必要だと思うこと、新たに組みんでもらいたいこと。 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自由記述欄
--	---